

令和元年度

仙台市高速鉄道事業会計  
決算説明資料

- 1 決算の概況
- 2 事業実績表
- 3 予算決算比較表
- 4 建設改良事業の概要

仙台市交通局

# 1 決算の概況

本年度の高速鉄道事業は、南北線と東西線とが一体となって十文字型の骨格交通軸を形成し、本市における基幹交通機関として市民生活において重要な役割を担うなかで、安全性及び利便性の向上に取り組むとともに、利用促進や効率的な事業運営に努めてまいりました。

安全性向上に向けた取組みとして、南北線において、経年劣化した高圧受電設備の更新等を実施したほか、バリアフリー化の一環として、駅出入口の階段の段差明瞭化や駅構内における触知案内設備及び非常用警報装置等の誘導・案内設備の整備を行うとともに、駅トイレについて、入口の段差解消やオストメイト用設備を備えた車椅子対応トイレの増設を含めた全面改修を計画的に実施しました。

利便性向上に向けた取組みとして、勾当台公園駅北2出入口におけるエスカレーター設備の増設等を行ったほか、IC乗車券システム運用の安定性確保のため、前年度に引き続きシステム更新を行いました。

利用促進に向けた取組みとして、前年度に引き続き市内の中学校に在籍する3年生に、一日乗り放題となる無料乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」を配付したほか、羽生結弦選手ポストカード付き一日乗車券の販売や、映画公開等にあわせ駅構内を活用したスタンプラリーなどを実施しました。また、お客様サービスを維持しつつ効率的な事業運営を図るため、新たに台原駅を加えた20駅において駅業務の委託を行いました。

このような状況のなか、東西線の利用増により、乗客数は91,683千人（1日平均250,499人）と前年度に比較して790千人、0.9パーセントの増、乗車料収入（消費税及び地方消費税抜き）は157億7千6百万円（敬老乗車証負担金及びふれあい乗車証負担金を含む。）と前年度に比較して1千4百万円、0.1パーセントの増となりました。本年度における収益的収支（消費税及び地方消費税抜き）につきましては、特別損失の計上等により前年度に比較して26億4千万円悪化し、45億3千7百万円の純損失となり、当年度未処理欠損金は867億1千8百万円となりますが、地方公営企業法第32条第3項に基づく資本剰余金の処分として、議会の議決を経て現存しない償却資産に係る資本剰余金4千1百万円を取り崩すことにより、866億7千7百万円が翌年度に繰り越されることとなります。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響により乗客数が減少しているとともに、今後、東西線建設に伴う企業債の償還や車両更新を含めた南北線の設備等の維持・更新などにより、堅実な経営が求められる状況となっております。引き続き、お客様の安全安心を第一とし、適切な情報提供を含めたお客様サービスの向上と収入の確保を含めた効率的な事業運営に努めてまいります。

## 2 事業実績表

区 分	年 度	単位	令和元年度 (C)	平成30年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比 率 (C)/(D)%
営 業 キ ロ		km	28.7	28.7	0.0	100.0
在 籍 車 両		両	144	144	0	100.0
年間走行キロメートル		km	12,623,332	12,608,550	14,782	100.1
乗 客 数	定 期 外 (A)	人	42,975,365	43,997,512	△ 1,022,147	97.7
	定 期	人	48,707,160	46,895,100	1,812,060	103.9
	計 (B)	人	91,682,525	90,892,612	789,913	100.9
	一日当り	人	250,499	249,021	1,478	100.6
乗車料収入	定 期 外	千円	9,354,749	9,539,332	△ 184,583	98.1
	定 期	千円	6,421,237	6,222,331	198,906	103.2
	計	千円	15,775,986	15,761,663	14,323	100.1
	一日当り	千円	43,104	43,183	△ 79	99.8
職 員 数 ( 管 理 者 除 く )		人	430	432	△ 2	99.5
輸送人員定期外比率 (A)/(B)		%	46.9	48.4	△ 1.5	—

(注) 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。

## (参考) 事業実績表路線別内訳

(南北線)

区分	年度	単位	令和元年度 (C)	平成30年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比率 (C)/(D)%
営業キロ		km	14.8	14.8	0.0	100.0
在籍車両		両	84	84	0	100.0
年間走行キロメートル		km	6,739,184	6,732,364	6,820	100.1
乗客数	定期外	人	32,306,281	33,236,486	△ 930,205	97.2
	定期	人	39,037,340	38,079,360	957,980	102.5
	計	人	71,343,621	71,315,846	27,775	100.0
	一日当り	人	194,928	195,386	△ 458	99.8
乗車料収入	定期外	千円	7,099,887	7,275,501	△ 175,614	97.6
	定期	千円	4,841,336	4,752,267	89,069	101.9
	計	千円	11,941,223	12,027,768	△ 86,546	99.3
	一日当り	千円	32,626	32,953	△ 326	99.0

(東西線)

区分	年度	単位	令和元年度 (C)	平成30年度 (D)	対前年度比較	
					増減(△減) (C)-(D)	比率 (C)/(D)%
営業キロ		km	13.9	13.9	0.0	100.0
在籍車両		両	60	60	0	100.0
年間走行キロメートル		km	5,884,148	5,876,186	7,962	100.1
乗客数	定期外	人	13,053,486	13,211,808	△ 158,322	98.8
	定期	人	16,060,320	14,987,400	1,072,920	107.2
	計	人	29,113,806	28,199,208	914,598	103.2
	一日当り	人	79,546	77,258	2,288	103.0
乗車料収入	定期外	千円	2,254,863	2,263,831	△ 8,968	99.6
	定期	千円	1,579,901	1,470,064	109,837	107.5
	計	千円	3,834,764	3,733,895	100,869	102.7
	一日当り	千円	10,477	10,230	248	102.4

- (注) 1 乗車料収入の金額は、消費税及び地方消費税抜きである。  
また、乗客数は南北線と東西線の乗換え分をそれぞれ含んでいる。
- 2 乗車料収入の金額は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。

### 3 予算決算比較表

(収益的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和元年度予算額				令和元年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	合計 (A)		
高速鉄道事業収益	24,574,466	103,219	0	24,677,685	24,010,787	△ 666,898
営業収益	19,187,872	103,219	0	19,291,091	18,634,257	△ 656,834
運輸収益	17,518,095	103,219	0	17,621,314	17,059,635	△ 561,679
運輸雑収益	1,669,777	0	0	1,669,777	1,574,622	△ 95,155
営業外収益	5,386,584	0	0	5,386,584	5,376,429	△ 10,155
受取利息及び配当金	150	0	0	150	2,873	2,723
他会計補助金	612,562	0	0	612,562	588,153	△ 24,409
長期前受金戻入	4,745,155	0	0	4,745,155	4,753,944	8,789
雑収益	28,717	0	0	28,717	31,459	2,742
特別利益	10	0	0	10	101	91
過年度損益修正益	10	0	0	10	0	△ 10
その他特別利益	0	0	0	0	101	101
高速鉄道事業費用	27,188,145	1,803,121	0	28,991,266	28,346,055	△ 645,211
営業費用	24,761,794	△ 195,879	0	24,565,915	24,028,304	△ 537,611
人件費	4,343,856	△ 451,567	0	3,892,289	3,755,240	△ 137,049
経費	7,457,666	△ 131,000	0	7,326,666	6,963,687	△ 362,979
減価償却費	12,960,272	386,688	0	13,346,960	13,309,377	△ 37,583
営業外費用	2,376,341	1,000	0	2,377,341	2,329,905	△ 47,436
支払利息及び企業債取扱諸費	1,759,015	△ 42,000	0	1,717,015	1,694,348	△ 22,667
消費税及び地方消費税	610,133	43,000	0	653,133	631,059	△ 22,074
雑支出	7,193	0	0	7,193	4,498	△ 2,695
特別損失	10	1,998,000	0	1,998,010	1,987,846	△ 10,164
過年度損益修正損	10	1,997,000	0	1,997,010	1,987,000	△ 10,010
その他特別損失	0	1,000	0	1,000	846	△ 154
予備費	50,000	0	0	50,000	0	△ 50,000
当年度純損益(税込み)	△ 2,613,679	△ 1,699,902	—	△ 4,313,581	△ 4,335,268	△ 21,687
当年度純損益(税抜き)	△ 2,859,162	△ 1,691,167	—	△ 4,550,329	△ 4,536,847	13,482

繰越利益剰余金 (△繰越欠損金)	△ 94,329,197	0	—	△ 94,329,197	△ 94,329,197	0
その他未処分利益 剰余金変動額	0	12,148,090	—	12,148,090	12,148,090	0
未処分利益剰余金 (△未処理欠損金)	△ 97,188,359	10,456,923	—	△ 86,731,436	△ 86,717,954	13,482

- (注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、当年度純損益(税抜き)、繰越利益剰余金、その他未処分利益剰余金変動額及び未処分利益剰余金については、消費税及び地方消費税抜きの額である。
- 2 その他未処分利益剰余金変動額は、貸借対照表上の固定資産と固定資産台帳の差異について調査を行い、台帳を修正したことに伴い計上した未処分利益剰余金の額である。

## (参考) 収益的収支路線別予算決算比較表

(南北線)

(単位: 千円)

区 分 科 目	令和元年度予算額				令和元年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	合計 (A)		
高速鉄道事業収益	16,343,341	103,219	0	16,446,560	15,983,743	△ 462,817
営業収益	14,418,378	103,219	0	14,521,597	14,058,295	△ 463,302
運輸収益	13,177,979	103,219	0	13,281,198	12,908,996	△ 372,202
運輸雑収益	1,240,399	0	0	1,240,399	1,149,299	△ 91,100
営業外収益	1,924,953	0	0	1,924,953	1,925,393	440
受取利息及び配当金	113	0	0	113	2,184	2,071
他会計補助金	558,567	0	0	558,567	533,416	△ 25,151
長期前受金戻入	1,341,542	0	0	1,341,542	1,365,200	23,658
雑収益	24,731	0	0	24,731	24,594	△ 137
特別利益	10	0	0	10	54	44
過年度損益修正益	10	0	0	10	0	△ 10
その他特別利益	0	0	0	0	54	54
高速鉄道事業費用	13,728,921	2,005,482	404	15,734,807	15,399,189	△ 335,618
営業費用	12,305,911	68,520	404	12,374,835	12,122,558	△ 252,277
人件費用	2,639,167	△ 250,851	0	2,388,316	2,330,373	△ 57,943
経費	4,430,299	△ 67,317	0	4,362,982	4,168,648	△ 194,334
減価償却費	5,236,445	386,688	404	5,623,537	5,623,537	0
営業外費用	1,393,000	△ 2,038	0	1,390,962	1,343,945	△ 47,017
支払利息及び企業債取扱諸費	865,988	△ 37,000	0	828,988	807,120	△ 21,868
消費税及び地方消費税	519,819	34,962	0	554,781	532,769	△ 22,012
雑支出	7,193	0	0	7,193	4,056	△ 3,137
特別損失	10	1,939,000	0	1,939,010	1,932,687	△ 6,323
過年度損益修正損	10	1,939,000	0	1,939,010	1,932,687	△ 6,323
予備費	30,000	0	0	30,000	0	△ 30,000
当年度純損益(税込み)	2,614,420	△ 1,902,263	-	711,753	584,553	△ 127,200

(東西線)

(単位: 千円)

区 分 科 目	令和元年度予算額				令和元年度 決算額 (B)	増減額 (△減) (B)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	合計 (A)		
高速鉄道事業収益	8,231,125	0	0	8,231,125	8,027,044	△ 204,081
営業収益	4,769,494	0	0	4,769,494	4,575,962	△ 193,532
運輸収益	4,340,116	0	0	4,340,116	4,150,639	△ 189,477
運輸雑収益	429,378	0	0	429,378	425,323	△ 4,055
営業外収益	3,461,631	0	0	3,461,631	3,451,035	△ 10,596
受取利息及び配当金	37	0	0	37	690	653
他会計補助金	53,995	0	0	53,995	54,737	742
長期前受金戻入	3,403,613	0	0	3,403,613	3,388,744	△ 14,869
雑収益	3,986	0	0	3,986	6,865	2,879
特別利益	0	0	0	0	47	47
その他特別利益	0	0	0	0	47	47
高速鉄道事業費用	13,459,224	△ 202,361	△ 404	13,256,459	12,946,865	△ 309,594
営業費用	12,455,883	△ 264,399	△ 404	12,191,080	11,905,746	△ 285,334
人件費用	1,704,689	△ 200,716	0	1,503,973	1,424,867	△ 79,106
経費	3,027,367	△ 63,683	0	2,963,684	2,795,039	△ 168,645
減価償却費	7,723,827	0	△ 404	7,723,423	7,685,840	△ 37,583
営業外費用	983,341	3,038	0	986,379	985,960	△ 419
支払利息及び企業債取扱諸費	893,027	△ 5,000	0	888,027	887,228	△ 799
消費税及び地方消費税	90,314	8,038	0	98,352	98,290	△ 63
雑支出	0	0	0	0	442	442
特別損失	0	59,000	0	59,000	55,159	△ 3,841
過年度損益修正損	0	58,000	0	58,000	54,313	△ 3,687
その他特別損失	0	1,000	0	1,000	846	△ 154
予備費	20,000	0	0	20,000	0	△ 20,000
当年度純損益(税込み)	△ 5,228,099	202,361	-	△ 5,025,334	△ 4,919,821	105,513

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

なお、路線別の内訳は、一部、運輸収益比や営業キロ比等により按分をしている。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。

## (資本的収支)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和元年度予算額				令和元年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	合計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	3,060,917	△ 98,555	0	2,962,362	2,504,122	79,444	△ 378,796
企業債	2,205,000	△ 105,000	0	2,100,000	1,775,000	37,000	△ 288,000
特例債	30,000	0	0	30,000	30,000	0	0
出資金	604,000	△ 21,000	0	583,000	496,000	15,000	△ 72,000
他会計補助金	221,917	14,445	0	236,362	188,185	14,444	△ 33,733
国庫補助金	0	13,000	0	13,000	0	13,000	0
その他資本的収入	0	0	0	0	14,937	0	14,937
高速鉄道事業資本的支出	10,093,902	△ 48,264	0	10,045,638	9,590,381	80,000	△ 375,257
建設改良費	3,035,764	△ 98,264	0	2,937,500	2,512,331	80,000	△ 345,169
企業債償還金	6,978,038	0	0	6,978,038	6,978,035	0	△ 3
投資	100	0	0	100	15	0	△ 85
その他資本的支出	50,000	△ 50,000	0	0	0	0	0
他会計長期借入金償還金	0	100,000	0	100,000	100,000	0	0
予備費	30,000	0	0	30,000	0	0	△ 30,000
差引	△ 7,032,985	△ 50,291	0	△ 7,083,276	△ 7,086,259	△ 556	△ 3,539

補てん財源	6,578,554	383,405	38,917	7,000,876	6,881,129	7,273	△ 112,474
消費税及び地方消費税 資本的収支調整額	239,975	△ 8,735	0	231,240	196,589	7,273	△ 27,378
損益勘定留保資金	8,628,292	2,083,307	38,917	10,750,516	10,651,938	0	△ 98,578
当年度純損益	△ 2,859,162	△ 1,691,167	0	△ 4,550,329	△ 4,536,847	0	13,482
前年度繰越金	569,449	0	0	569,449	569,449	0	0
当年度末資金剰余額	△ 454,431	333,114	38,917	△ 82,400	△ 205,130	6,717	△ 116,013

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。ただし、補てん財源及び当年度末資金剰余額については、消費税及び地方消費税抜きの額である。

## ○資金不足比率

(単位：千円，%)

資金不足額 (※1) (a)	事業規模 (※2) (b)	資金不足比率 (a)/(b)
0	17,236,002	—

## ○資本剰余金の処分(案)について

現存しない資産に係る資本剰余金を、地方公営企業法第32条第3項に基づき、議決を経て40,715千円処分し未処理欠損金に充てる。

※1 資金不足額については、解消可能資金不足額10,444,240千円を控除した額である。

※2 事業規模＝営業収益－受託工事収益(消費税及び地方消費税抜き)

## (参考) 資本的収支路線別予算決算比較表

(南北線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和元年度予算額				令和元年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額 (△減)	合 計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	2,743,917	△ 88,555	0	2,655,362	2,318,185	79,444	△ 257,732
企業債	1,951,000	△ 97,000	0	1,854,000	1,638,000	37,000	△ 179,000
特例債	30,000	0	0	30,000	30,000	0	0
出資金	541,000	△ 19,000	0	522,000	462,000	15,000	△ 45,000
他会計補助金	221,917	14,445	0	236,362	188,185	14,444	△ 33,732
国庫補助金	0	13,000	0	13,000	0	13,000	0
高速鉄道事業資本的支出	6,998,539	11,966	△ 15,895	6,994,610	6,685,045	80,000	△ 229,565
建設改良費	2,716,876	△ 88,034	△ 15,895	2,612,947	2,321,430	80,000	△ 211,517
企業債償還金	4,263,603	0	0	4,263,603	4,263,600	0	△ 3
投資	60	0	0	60	15	0	△ 45
他会計長期借入金償還金	0	100,000	0	100,000	100,000	0	0
予備費	18,000	0	0	18,000	0	0	△ 18,000
差 引	△ 4,254,622	△ 100,521	15,895	△ 4,339,248	△ 4,366,860	△ 556	△ 28,167

(東西線)

(単位：千円)

区 分 科 目	令和元年度予算額				令和元年度 決算額 (B)	翌年度 繰越額 (C)	増減額 (△減) (B)+(C)-(A)
	当初予算額	補正予算額 (△減)	流用増減額	合 計 (A)			
高速鉄道事業資本的収入	317,000	△ 10,000	0	307,000	185,937	0	△ 121,063
企業債	254,000	△ 8,000	0	246,000	137,000	0	△ 109,000
出資金	63,000	△ 2,000	0	61,000	34,000	0	△ 27,000
その他資本的収入	0	0	0	0	14,937	0	14,937
高速鉄道事業資本的支出	3,095,363	△ 60,230	15,895	3,051,028	2,905,336	0	△ 145,692
建設改良費	318,888	△ 10,230	15,895	324,553	190,901	0	△ 133,652
企業債償還金	2,714,435	0	0	2,714,435	2,714,435	0	0
投資	40	0	0	40	0	0	△ 40
その他資本的支出	50,000	△ 50,000	0	0	0	0	0
予備費	12,000	0	0	12,000	0	0	△ 12,000
差 引	△ 2,778,363	50,230	△ 15,895	△ 2,744,028	△ 2,719,399	0	24,629

(注) 1 消費税及び地方消費税込みの額である。

2 表中に用いた数値は表示単位未満を四捨五入して表示した。したがって、合計と内訳の合算額及び増減額と増減額算定対象額の差額及び各路線の項目毎の合計値と前頁における当該項目の数値が一致しない場合がある。



## 4 建設改良事業の概要

(単位：千円)

科 目	令和元年度 事業費	主たる事業
土 地	4,955	土地分筆登記等
建 物	1,259,335	エスカレーター設備増設・更新
線 路 設 備	35,283	地上レール塗油器購入
電 路 設 備	414,192	高圧受電設備等更新
車 両	45,873	V V V F 制御装置購入
機 械 装 置	635,747	I C 乗車券システム更新
工具・器具・備品	11,369	公用車購入
その他無形固定資産	799	遺失物管理システム改修
受 託 工 事 費	13,579	竜の口橋りょう災害復旧
建 設 諸 費	91,199	人件費及び事務経費
計	2,512,331	

(注) 消費税及び地方消費税込みの額である。